

## 泊発電所3号炉 新規制基準適合性審査のうちプラント側審査の今後の対応について

2021年8月26日審査会合以降、9月30日に防潮堤の設計方針に係る説明を行い、10月1日に審査取りまとめ資料（以降、「まとめ資料」という。）及び比較表を提出した泊発電所3号炉について、プラント側審査に係る今後の対応を以下のとおり考えている。

1. プラント側審査のうち防潮堤に係る審査は、2022年1月に提出予定の審査会合（9/30）コメント回答資料について2022年1～2月にかけて説明を行う。
2. 防潮堤に係る審査が進捗することを踏まえ、4条（耐震）・5条（耐津波）を除くプラント側審査まとめ資料及び比較表について内容の改善を図ったものを全3回の分割提出とし、第1回分の8条文・審査項目について2022年2月4日（計画）に提出する。
3. 2月の期間は、第1回提出分（8条文・審査項目）の説明を行う。
4. 並行して、2021年12月～2022年1月の地盤側審査会合の開催に伴い得られる今後の見込みを踏まえ、プラント側審査の説明スケジュールの見直しを軸に、以下の内容について2022年1～2月に説明を行う。

### 【説明事項（案）】

- ▶ プラント側審査の見直し説明スケジュール
    - ・地盤（地震・津波側）審査の状況を含む
  - ▶ プラント側審査資料の改善について
  - ▶ 改善した資料の提出と個別説明の工程について
  - ▶ プラント側審査の主要な説明事項について
5. 3月以降は、説明を行った資料の提出と個別説明の工程に基づき、2回目以降の資料の提出と説明を行う。

### 【参考】これまでの経緯

- ▶ 泊発電所3号炉の新規制基準適合性審査のうちプラント側審査は、2013年7月～2014年10月の期間及び2016年7月～10月の期間に審査会合で説明を行った。
- ▶ その後、地震・津波側審査の進捗を待つ必要があったことから2017年3月に、それまでの説明状況を反映したプラント側の審査取りまとめ資料（以降、「まとめ資料」という。）を提出した。
- ▶ 2021年7月2日の審査会合において、「敷地内断層の活動性評価」に係る当社の説明に対し「概ね妥当な検討がなされている」との評価を頂き、泊3号炉の地震・津波側審査が進捗した。
- ▶ 8月26日の審査会合にて、新設する防潮堤の概要と、プラント側審査の全体説明スケジュール案について説明を行った。

- 9月30日の審査会合にて、防潮堤の設計方針について説明を行った。
- 10月1日に、8月26日審査会合で示したスケジュール案に基づき、耐震・耐津波設計方針とその影響を受ける範囲を除き、2017年3月に提出した「まとめ資料」に対して他社プラントでの審査実績を反映したものを提出した。
  - ✓ 耐震・耐津波設計方針とその影響を受ける範囲については、説明に必要な「まとめ資料」を順次提出の上、設計方針の説明を行いつつ、解析・評価が完了次第、残りの「まとめ資料」を提出する計画とした。
- 地盤（地震・津波）側審査のうち基準津波は12月24日に、震源特定せず2022年1月に審査会合で説明する準備を進めており、審査会合の開催に伴い今後の見込みも得られるものと考えている。

以上